令和３年　　月　　日

あつぎ中小企業応援交付金交付申請書

厚木商工会議所会頭　殿

**１　申請者の基本事項**

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所所在地 | 　厚木市 |
| 商号又は屋号（法人の場合は名称）及び代表者の職・氏名 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印 |
| 主たる業種 |  |
| 担当者の所属・氏名電話番号・メールアドレス | （所属）　　　　　　　 　　（氏名）（電話）　　　　　　　　 　（ﾒｰﾙ） |
| どちらかにレ点を□法人□個人 | 法人は右記の項目記入(必須) | 法人番号（13桁） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 資本金及び従業員数 | (資本金)　　　　　　　　　　　(従業員数)　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円　　　　　　　　　　　 人 |

**２　支援を受ける該当項目の□にレ点でチェックし、必要事項をご記入ください。**

|  |
| --- |
| * 売上げ減少への支援（一律 100,000円を交付）

※対象は、令和２年12月又は令和３年１月のどちらかの売上が、前年同月より15％以上減少した場合です。【記入欄】（減少率を確認するため、該当する月の売上高を下線部にご記入ください。）１－（ 　　　　　　　　　　円（　　月） ÷　　　　　　　　　　　円 ） ≧　0.15※ 計算式 1-｛（⇑ 令和2年12月又は令和3年1月の売上高）÷（⇑ 前年同月の売上高）｝≧0.15 |
| * ２０時までの夜間短縮営業協力への支援（下記④のＡは一律50,000円、Ｂは一律150,000円を交付）

※対象は、通常の営業時間が20時過ぎまでの店舗等が20時以前に短縮して、10日以上協力した場合です。【記入欄】（次の下線部に必要事項（④はＡ又はＢを○印で囲む。）をご記入ください。）①通常の営業時間（24時間表記） →　　　　：　　　　～　　　　：　　　←20時過ぎまで営業②短縮後の営業時間（24時間表記） →　　　　：　　　　～　　　　：　　　←20時以前に短縮　　③短縮営業実施日数 → 令和３年１月12日から２月７日までの間で　　 　　日←10日以上　　④対象店舗の業種 → Ａ ＝神奈川県の夜間営業時間の短縮要請を受けている店舗等　　④対象店舗の業種 → Ｂ ＝それ以外（　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　）　　　　（該当する記号を○で囲んでください。またＢの場合は、具体的な業種をご記入ください。） |

**３　交付金の振込先口座（注：お間違えのないようにご記入ください。）**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 金融機関名 |  | 金融機関コード２０時過ぎまでの店舗 | 支店名２０時過ぎまでの店舗 | ２０時過ぎまでの店舗 | 支店コード２０時過ぎまでの店舗 |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 口座種別 | 　 　普 通 　 ・ 　当 座 | 口座番号 |  |  |  |  |  |  |  |
| 名義人（カナ） | ※カタカナで記入(例) ヤマダ　タロウ |

* 口座への振り込みをもって交付決定とします。また、申請書受理後、２週間程度での振り込みを予定しています。

**４　添付書類****（次の(1)・(2)は必須、(3)・(4)は、該当する支援を受ける方が必要）**

（1）「厚木市内での事業活動を証する書類の写し」

（法人は、法人市民税申告書、個人は、青色申告決算書、収支内訳書など。）

（2）振込先口座の「通帳の表紙の写し」及び通帳を開いて「1ページ目と2ページ目の写し」

（3）売上げ減少への支援を受ける方は、「比較したそれぞれの月の売上がわかる資料の写し」

（法人は、事業概況説明書、個人は、青色申告決算書、売上元帳、管理台帳など。）

(4) 夜間短縮営業協力への支援を受ける方は、「通常の営業時間と短縮後の営業時間がわかる

資料（通常の営業時間の看板写真、時短営業の案内物、ＨＰのコピーなど、一般に広く公開しているもの）」

また、Ａの神奈川県の夜間営業時間の短縮要請を受けている店舗等は、「営業許可証の写し」

**５　確認・誓約事項（注：次の３項目すべてを○印により必ず意思表示をお願いします。）**

（1）市税の滞納はしていません。・・・・・・・・ →　**はい**　（該当の場合は必ず〇印を）

（2）暴力団又は役員等が暴力団員ではありません。 →　**はい**　（該当の場合は必ず〇印を）

（3）本申請に当たり、記載内容は正確なものであり、万一事実と異なる内容があった場合は、

交付を受けた協力金等の全額を返還いたします。→　**同意する**　（同意の場合は必ず〇印を）

**６　複数の店舗等を営んでいる場合は各々が対象となりますので、店舗ごとに申請願います。**

＜申請の際には、控え（コピー）を残してくださるようお願いします。＞ ※ 記入例は裏面

申請日を記入

記 入 例

令和３年２月５日

あつぎ中小企業応援交付金交付申請書

厚木商工会議所会頭　殿

**１　申請者の基本事項**

あつぎ物産販売印

|  |  |
| --- | --- |
| 事業所所在地 | 　厚木市　**栄町１－１６－１５** |
| 商号又は屋号（法人の場合は名称）及び代表者の職・氏名 | 　**株式会社 あつぎ物産販売****代表取締役　厚木　太郎**　　　　　　　　　　　印 |
| 主たる業種 | 　**小売店（物産販売所）** |
| 担当者の所属・氏名電話番号・メールアドレス | （所属）**販売促進部**　　　 （氏名）**厚木　一郎**（電話）**046-221-2151**　　 （ﾒｰﾙ）**support@atsugicci.or.jp** |
| どちらかにレ点を**☑**法人□個人 | 法人は右記の項目記入(必須) | 法人番号（13桁） | **２** | **８** | **３** | **６** | **１** | **７** | **９** | **４** | **５** | **８** | **８** | **９** | **２** |
| 資本金及び従業員数 | (資本金)　　　　　　　　　　　(従業員数)　　　　　　　　　　　**２,０００,０００** 円　　　　　　　　　　　**５** 人 |

**２　支援を受ける該当項目の□にレ点でチェックし、必要事項をご記入ください。**

|  |
| --- |
| **☑** 売上げ減少への支援（一律 100,000円を交付）※対象は、令和２年12月又は令和３年１月のどちらかの売上が、前年同月より15％以上減少した場合です。【記入欄】（減少率を確認するため、該当する月の売上高を下線部にご記入ください。）１－（ 　 　　**６５０，０００**円（**１２**月） ÷　**１，１００，０００**円 ） ≧　0.15※ 計算式 1-｛（⇑ 令和2年12月又は令和3年1月の売上高）÷（⇑ 前年同月の売上高）｝≧0.15 |
| **☑** ２０時までの夜間短縮営業協力への支援（下記④のＡは一律50,000円、Ｂは一律150,000円を交付）※対象は、通常の営業時間が20時過ぎまでの店舗等が20時以前に短縮して、10日以上協力した場合です。【記入欄】（次の下線部に必要事項（④はＡ又はＢを○印で囲む。）をご記入ください。）通常が20時過ぎまで営業①通常の営業時間（24時間表記） →　**１０：００**　～　**２１：００**②短縮後の営業時間（24時間表記） →　**１０：００**　～　**１９：３０**←20時以前に短縮　　③短縮営業実施日数 → 令和３年１月12日から２月７日までの間で**２７ 日**←10日以上　　④対象店舗の業種 → Ａ ＝神奈川県の夜間営業時間の短縮要請を受けている店舗等　　④対象店舗の業種 → Ｂ ＝それ以外（　**小売店（物産販売所）**　　　　　　　　　）　　　　（該当する記号を○で囲んでください。またＢの場合は、具体的な業種をご記入ください。） |

**３　交付金の振込先口座（注：お間違えのないようにご記入ください。）**

**アツギ　タロウ**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 金融機関名 | **あつぎ銀行** | 金融機関コード２０時過ぎまでの店舗 | 支店名２０時過ぎまでの店舗 | **栄町支店**２０時過ぎまでの店舗 | 支店コード２０時過ぎまでの店舗 |
| **5** | **5** | **9** | **9** | **8** | **8** | **8** |
| 口座種別 | 　 　普 通 　 ・ 　当 座 | 口座番号 | **0** | **1** | **2** | **3** | **4** | **5** | **6** |
| 名義人（カナ） | ※カタカナで記入(例) ヤマダ　タロウ |

* 口座への振り込みをもって交付決定とします。また、申請書受理後、２週間程度での振り込みを予定しています。

**４　添付書類（次の(1)・(2)は必須、(3)・(4)は、該当する支援を受ける方が必要）**

（1）「厚木市内での事業活動を証する書類の写し」

（法人は、法人市民税申告書、個人は、青色申告決算書、収支内訳書など。）

（2）振込先口座の「通帳の表紙の写し」及び通帳を開いて「1ページ目と2ページ目の写し」

（3）売上げ減少への支援を受ける方は、「比較したそれぞれの月の売上がわかる資料の写し」

（法人は、事業概況説明書、個人は、青色申告決算書、売上元帳、管理台帳など。）

(4) 夜間短縮営業協力への支援を受ける方は、「通常の営業時間と短縮後の営業時間がわかる

資料（通常の営業時間の看板写真、時短営業の案内物、ＨＰのコピーなど、一般に広く公開しているもの）」

また、Ａの神奈川県の夜間営業時間の短縮要請を受けている店舗等は、「営業許可証の写し」

**５　確認・誓約事項（注：次の３項目すべてを○印により必ず意思表示をお願いします。）**

（1）市税の滞納はしていません。・・・・・・・・ →　**はい**　（該当の場合は必ず〇印を）

（2）暴力団又は役員等が暴力団員ではありません。 →　**はい**　（該当の場合は必ず〇印を）

（3）本申請に当たり、記載内容は正確なものであり、万一事実と異なる内容があった場合は、

交付を受けた協力金等の全額を返還いたします。→　**同意する**　（同意の場合は必ず〇印を）

**６　複数の店舗等を**

＜申請の際には、控え（コピー）を残してくださるようお願いします。＞